

ニンジャーライト マニュアル

2012/05/09

NINJAR?LIGHT

機構 Vr9.4b

プログラム NL001_X 20120509

トゥビア
802-0823
北九州市小倉南区舞ヶ丘1-5
tel 093 963 8105 fax 093 963 8106

ニンジャーライト使用に関する 注意とお願い

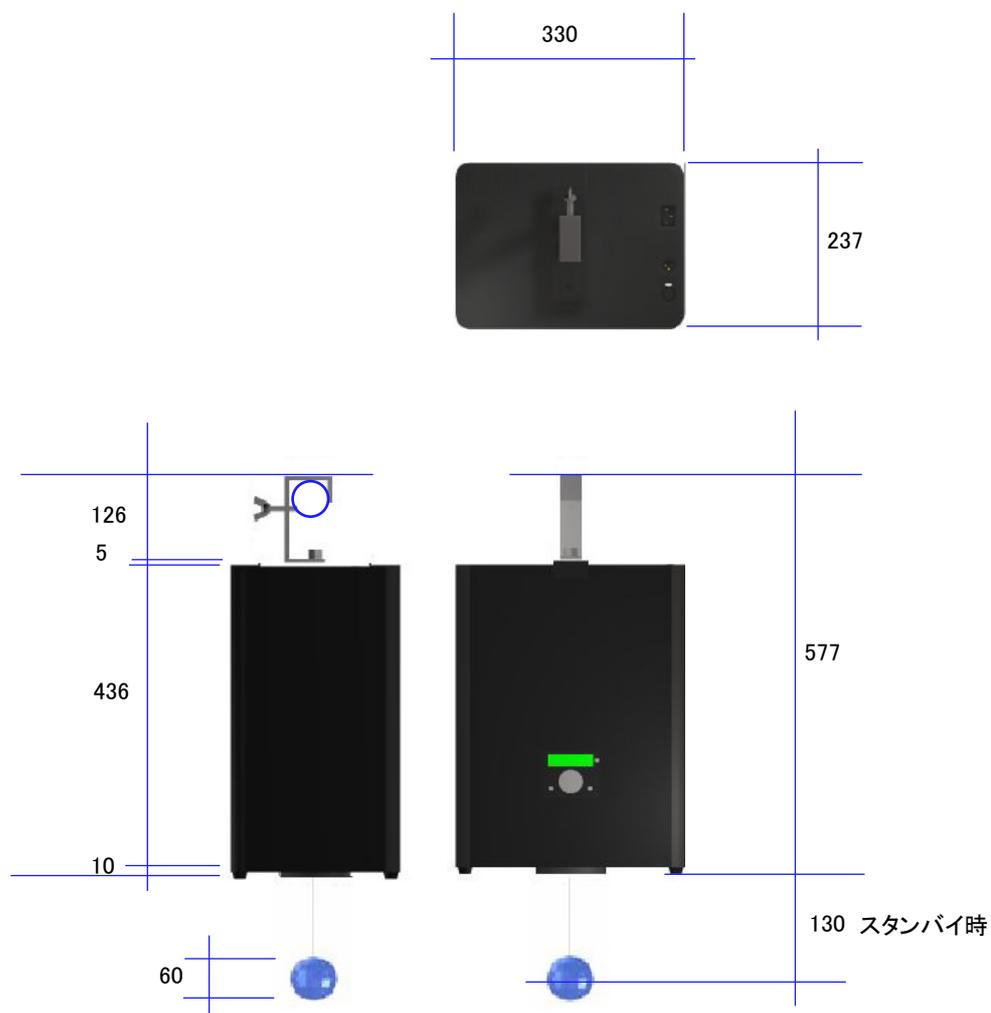
- ① LED部やケーブルは、地面やその他の物体には、触れないようにしてください、トラブルの原因となります。
- ② 使用及び運搬の際、本体を横にしないで下さい、トラブルの原因となります。
- ③ 一部のDMXコンソール及び、特にDMXワイヤレスでは、ご使用になれない場合があります。DMX信号を読み替える機器(マージなど)を間に入れることによって、ほとんどの場合解消しますが、現場前に、必ず使用するDMX機器を接続し、動作をご確認下さい。
- ④ 通常 Velocity値(ベロシティ 動作速度)は、0-40%でご使用下さい。コンソール側でHome値などを設定する場合は、30%(075程度)が使いやすいようです。
- ⑤ Velocity値(ベロシティ 動作速度)が大きい場合、ステッピングモーターは脱調を起こすことがあります。ニンジャーライトは自動で脱調を検出しません。その場合Velocity値を1度"0"にして徐々に大きくしてください
- ⑥ ニンジャーライトのモーターは、演出のため、かなりの速度とトルクを持っております。これは、場合によってLED部やケーブルの損傷につながります。ご注意ください。
- ⑦ 本体にACのアウトプットが付属しております。シリーズは5-6台程度にとどめてください。
- ⑧ DMXシリーズは10台以下にとどめてください。
- ⑨ 使用前に本体内部のケーブルの状態を確認してください。
必要であれば手動でケーブルを引っ張り出してから、初期動作を行ってください。

2012/06/04

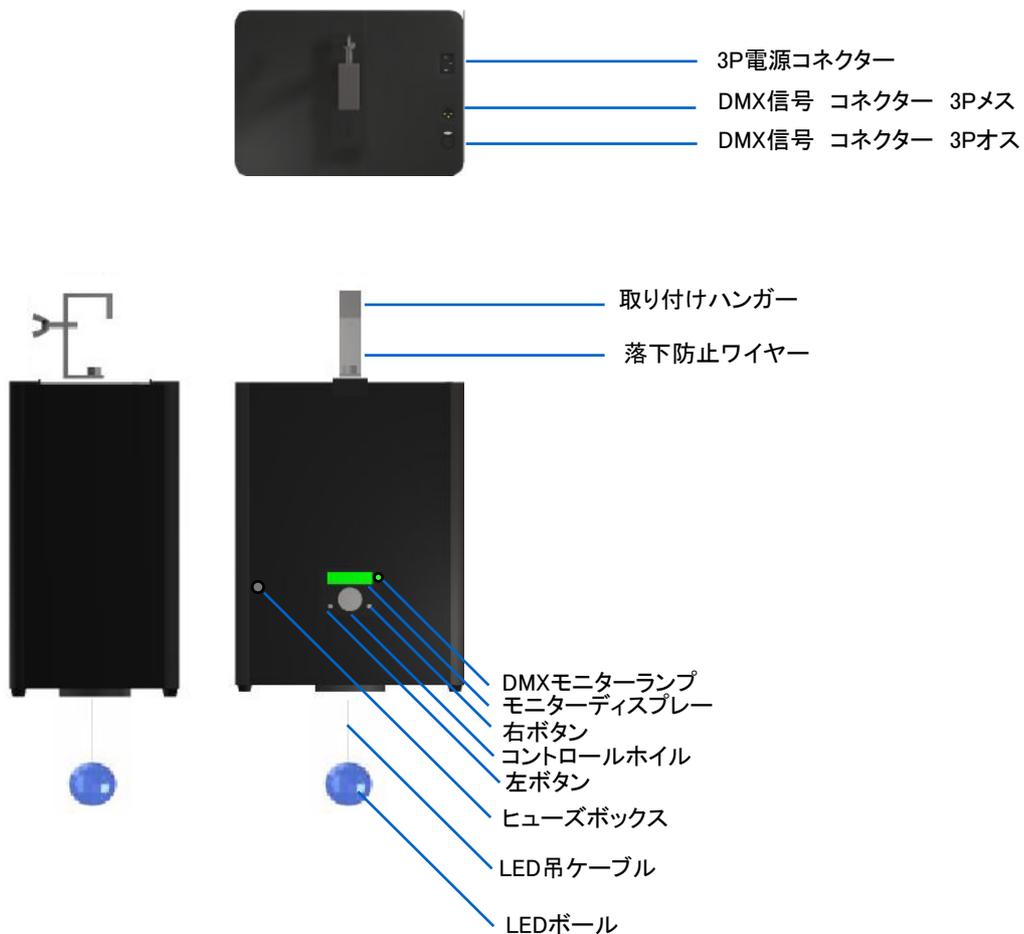
技術仕様

本体寸法 W237 D330 H476 (LED部及びハンガー部含まず)
本体重量 8kg
ケーブル長 12m (最大13m)
ケーブル径 1.8mm
ケーブル速度 最大 5m/sec
分解能 1mm以下 (使用条件により異なる)
操作入出力 DMX-512
操作チャンネル 8ch ベロシティ(スピード) Z(高さ) Zfine(高さ微小)
ブルー グリーン レッド デイマー
コントロール (上限 下限設定 リセット)
電源 AC100V 2.5A 50/60HZ

寸法図



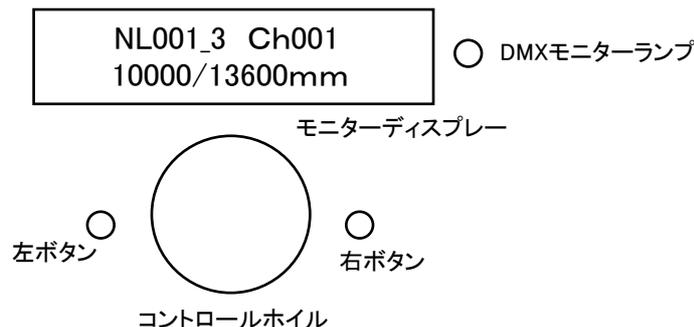
各部名称



DMX チャート

DMX Ch	DMX 値		
1 Velocity	0-255	動作速度	0 停止 -254最大速度 /255 固定速度0.5m/s
2 Z course	0-255	高さ	0 上限設定値 - 255 下限設定値
3 Zfine	0-255	高さ微小	
4 Control	0	ノーマルDMXコントロール	
	24-27	LED収納/リセット	Velocity=0 及び3秒以上の保持にて動作
	49-53	下限設定	
	100-104	上限設定	
	202-206	上限設定を消去 下限設定を15000mmに設定	
	207-255	ハードウェアの上限設定及び下限設定を無効、ケーブル長を測定。	
5 LED Master	0-255	マスター	
6 LED Red	0-255	レッド	
7 LED Green	0-255	グリーン	
8 LED Blue	0-255	ブルー	

本体操作



電源投入後初期動作が終わると右ボタンで本体メニューに入れます。

また、左ボタンでモニターディスプレイのバックライトが点灯します。
再度左ボタンを押すと消灯します。

コントロールホイールを回すことによってメニューを変更することが出来ます。右ボタンで決定、表示の各メニューに入れます。

メニュー

RETURN to MAIN

メニューを終了DMX操作に戻ります。

UnitNo. SETTING

灯体番号により本体のDMXアドレスを変更します。コントロールホイールを回すことによって灯体番号が増減します。左ボタン+コントロールホイールで、灯体番号の二桁目が増減します。右ボタンで決定し本体のDMXアドレスが灯体番号 $\times 8-7ch$ で、設定されメニューを終了しDMX操作に戻ります。

ADDRESS SETTING

本体のDMXアドレスを変更します。コントロールホイールを回すことによってDMXアドレスが増減します。左ボタン+コントロールホイールで、DMXアドレスの二桁目が増減します。右ボタンで決定し本体のDMXアドレスが表示中の番号で設定されメニューを終了しDMX操作に戻ります。

DISPLAY SELECT

DMX操作中のモニターディスプレイ表示状態を変更します。コントロールホイールを回すことによって表示項目が変化します。右ボタンにより決定、メニューを終了しDMX操作に戻ります。

DISPLAY SELECTには以下のメニューがあります。

DMXCh wirelength

DMXアドレスとケーブル長 下限設定値が表示されます。

DMX VALUE

本体DMXアドレスから8ch分DMX値が表示されます。

MOTION DATA

LEDボールの位置とDMXによる指示値が表示されます。(エンコーダーカウント)

TOP,LOW & limit

LEDボールの昇降上限下限設定及びハードウェアの上限下限設定が表示されます。(エンコーダーカウント)

speed & spr

LEDボールの昇降スピードと指示値が表示されます。(エンコーダーカウント)

MANUAL MOTION

本体側操作によりLEDボールを昇降します。コントロールホイールを回すことによってLEDボールが昇降します。左ボタン+コントロールホイールで、LEDボールが1/10の分解能で昇降します。右ボタンでメニューを終了DMX操作に戻ります。

MANUAL LED

本体側操作によりLEDを点灯します。コントロールホイールを回すことによって、Red、Green、Blueと各色のメニューが表示され右ボタンで決定。コントロールホイールを回すことによって明るさが変化します。returnでメニューを終了しDMX操作に戻ります。

RESET HARDWARE

LEDボールの昇降の上限設定を無効に、かつ下限設定を15000mmに設定します。

INITIALIZE

ハードウェアの上限設定及び下限設定を無効にし、ケーブル長を測定します。

Lowlevel .SETTING

LEDボールの昇降下限設定を変更します。コントロールホイールを回すことによって下限設定が100mmずつ増減します。左ボタン+コントロールホイールで、下限設定の1桁目1mm単位で増減します。右ボタンで決定。LEDボールの昇降下限設定は表示中の数値で設定されます。

Rigging Mode

single rigging(シングルリギング)

通常のリギングモード、電源投入後の初期動作でケーブルをUpperのLimitまで巻き上げ、初期位置を認識します。

multi rigging(マルチリギング)

電源投入後の初期動作でケーブルを巻き上げず、最初のDMX値によって現在値を認識します。複数のケーブルでLEDオブジェクトが接続されている場合やボールストックに入りきれないサイズのオブジェクトを吊る場合など、初期動作不能の際使用する、特別なモードです。

2012/06/04